

## ビルシステム Building Systems

## 三菱機械室レスエレベーター“AXIEZ-LINKs”

## "AXIEZ-LINKs" : Machine-room-less Elevator

ビルのインフラとしての価値、ビルソリューションのコアプロダクトとしての価値を高めた三菱機械室レスエレベーター“AXIEZ-LINKs(アクシーズリンクス)”を開発した。“建築と人の想いをつなぐエレベーターへ。”をデザインコンセプトに、世界市場との共通性も意識したスタイルを提案する。かご室にコーニス照明の天井や艶を抑えた壁面材を新たにラインアップし、操作表示器では大型液晶と新画面デザインを採用し、より快適なかご内空間を提供する。そして、街、建物、人と“つながる”エレベーターとして、機能・安心・安全の向上を実現した。

- (1) 街とつながる：クラウドを活用したビル統合ソリューション“BuilUnity”との連携によって、顧客のスマートフォン等から、複数ビルのエレベーター状態確認や、運行スケジュール設定ができる。
- (2) 建物とつながる：従来のバッテリー搭載に加え、太陽光発電システムや電気自動車からの電力供給によって、停電時にも運転サービスを継続できる。また、ロボットとエレベーターとを接続連携させることで、ロボットが自動でフロア間を移動する。
- (3) 人とつながる：人感センサを活用したセンシングドアシステムは、乗り込む乗客がない場合にドアを速やかに閉める。ドアの開閉タイミングを早めるクイックドアシステムと乗客数に

応じて走行速度を上げるスーパー可変速システムとの相乗効果によって、輸送能力が現行機種比最大約26%向上する。



かご内インジケータ (行先階表示機能付き)

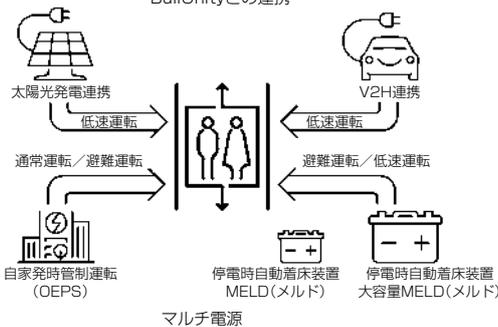
AXIEZ-LINKsのかご室



BuilUnityとの連携



ロボットとの連携



マルチ電源



人感センサ (センシングドアシステム)

“つながる”の機能例

## アニメーションライティング装置“てらすガイド”

## Animation Lighting Equipment "TerasuGuide"

アニメーションライティング装置“てらすガイド”は、光で床面にサインを投射することによって人流誘導や注意喚起を効果的に行うことを目的にした機器である。特にアニメーション化したサインである“ダイナミックサイン”を表示できることを特長としている。

サインの編集はタブレットパソコンにインストールされた専用のWebアプリケーションによって行う。タッチ操作で直感的にサインを編集でき、編集の際にタブレットパソコンをこの装置と無線LANで接続していると、編集中のサインをリアルタイムに投射できる。そのためサイン投射箇所の環境や障害物の影響に応じてきめ細かくサインの構成を調整できる点にこの装置の利便性がある。Webアプリケーションでは最大30台の装置を管理でき、

装置1台当たり最大24個のサインを管理できる。これら24個のサインはスケジュール機能によって指定した時刻に表示を開始できる。また外部システムからの接点入力信号を接点-LAN変換機器経由で取り込み、接点信号がONになった場合に任意のサインの表示もできる。



てらすガイドのシステム構成



サイン編集画面の例

## ビルシステム Building Systems

## 住友不動産池袋東ビル向け昇降機設備

## Elevators for "Sumitomo Fudosan Ikebukuro Higashi BLDG"

住友不動産池袋東ビルは、国内有数の商業、業務集積都市を形成する池袋エリアの一角に建設され、池袋副都心の新しいビジネスの創発拠点としての利用が期待されている。建物には基礎免震構造を採用し、2回線受電や72時間の非常用発電機の実装など、高い事業継続性を実現している。建物の外観は、北側はアウトフレームとした柱と梁(はり)が白とグレーで塗り分けられた外装デザインであり、南側も北側と同じ白い柱型フレームの配置で特徴付けられ、南北一体の表現になっている。

当社は昇降機設備として、乗用エレベーター3台、乗用兼非常用エレベーター1台、人荷用エレベーター(二方向出入口)1台の計5台を納入した。不整形な土地に建てられたため、エレベーターホールの形状が円形になっており、5台のエレベーターは扇形に配置されている。

1階のエレベーターホールは天井高さが10mと、開放的な空間になっている。乗場の意匠の特徴は、出入口上部に設置されたアクリル製のホールランタンで、長さが三方枠の幅まで含めて

1,400mmあり、また60mm突出させることで、遠くからでも認識しやすく、利用者の視認性を高める工夫をしている。

かご室の壁には、住友ベークライト(株)製のデコライノペア<sup>(注)</sup>を貼り付けている。見栄えはカラスステンレス風のデザインであるが、磁石で貼り付けているため、傷等が付いたときに容易に交換することが可能である。乗用エレベーター4台の正面壁は、カラスステンレス鏡面を非対称で設置し、天井の形状も鏡面のサイズに合わせて非対称で構成している。



1階エレベーターホール



乗用エレベーターのかご内

## 米国“Starbucks Reserve Roastery Chicago”向け昇降機設備

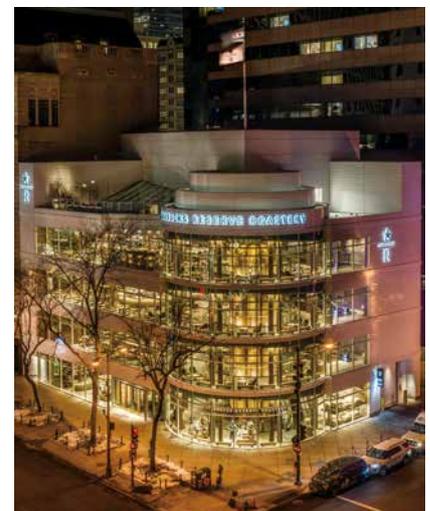
## Escalators for "Starbucks Reserve Roastery Chicago" in the U.S.

2019年11月に米国イリノイ州シカゴ市の中心部にオープンしたStarbucks Reserve<sup>(注)</sup> Roastery Chicagoは、全世界で6店舗しか存在しない<sup>(\*)</sup>焙煎(ばいせん)工場を併設したコンセプト店であり、5階建て約1,000坪の店舗面積はStarbucksとしては世界最大<sup>(\*)</sup>になる。同店舗へ当社は日本(当社稲沢製作所)製のスパイラルエスカレーター1台を含む計5台のエスカレーターを納入した。スパイラルエスカレーターは1階から5階をらせん状に貫く吹き抜けの中心部に設置され、2階へと昇る乗客が店内の焙煎工程を広範囲に見られるよう設計されている。

既存の商業施設を改修したこの案件は、当社スパイラルエスカレーターを中心に据えて建築設計が行われる従来のスタイルとは異なり、スパイラルエスカレーターを限られた空間にパズルのようにはめ込む必要があった。特にスパイラルエスカレーター設置部には既存建築柱が複数存在し、これらの柱に干渉することなく製品を納めることが大きな課題になった。ピットの開口など建築との取り合いを

考慮した上で、据付調整作業や外装取付作業に必要な最小限のスペースを確保するため、設計時から据付部門と連携して検討を重ね、最適なレイアウトを考案した。こうして限られた空間へ納めることに成功したこの案件は、スパイラルエスカレーターを採用できる建築の幅を広げる役割を果たした。

\*1 2020年8月現在、当社調べ



出典：Starbucks.com

Starbucks Reserve Roastery Chicago